

学校関係者評価報告書

愛媛県立弓削高等学校

学校番号(18)

No. 1

評価実施日		令和5年2月21日(火)	
委員	氏名	所属等	備考
	山口正寿	上島町立弓削中学校校長	
	本山卓嗣	上島町立弓削小学校校長	
	村上律子	株式会社しまの会社代表取締役	学校評議員
	伊藤誠	弓削民生児童委員	学校評議員
	藤本隆士	国立弓削商船高等専門学校副校長	学校評議員
	梨木善彦	上島町教育委員会学校教育課長	学校評議員
	松浦哲	上島町商工会会長	学校評議員
	村上貴樹	P T A会長	
	中根教道	副P T A会長	
	大本佳香	副P T A会長	
	松浦貴美香	副P T A会長	

評価・提言等	提言等に関する改善方策等
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 個別指導の生徒の評価が高いのが素晴らしい。ICTの項目も生徒の評価が高く、上手に活用されているので良いと思う。家庭学習時間については、子供が自分で進んで家庭学習するタイプではないので、課題が多い方が助かっている。</p> <p>(2) ICT機器を効果的に活用したり、きめ細かい指導を行ったりすることで、評価が高いのではないかとと思われる。</p> <p>(3) 家庭学習については小中からの学習習慣が影響しているので、中学校での指導を工夫して、連携が取れるようにしていく。</p> <p>(4) 中学生も同様、家庭での学習に関する評価は低い。課題の与え方も大事だが、自らが課題発見・解決していける力を付けなければ取り残される。</p>	<p>○コースや類型に応じた適切な課題の与え方について検討する。</p> <p>○総合的な探究の時間等の課題解決型学習を充実させ、学習意欲を喚起する。</p>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に関する改善方策等
<p>(5) 教員の自己評価が低いにもかかわらず生徒や保護者の評価が高い項目や、教員が注力していても生徒に伝わっていない項目など、もどかしさが読み取れる。教員の工夫をして行かねばという意識が感じられ、今後に期待できる結果である。</p> <p>(6) アンケート結果を見ると、保護者の評価が大きく向上しており、先生方の熱心な取組が実を結んでいると思う。先生方の評価は下がっているが、自信を持って取り組んでほしい。</p> <p>(7) 小規模校ならではの強みを生かした取組を引き続きお願いしたい。</p> <p>(8) 2年次からのコース選択について、聞くだけではピンと来ない生徒もいると思うので、見学なり体験なり実際に目にする時間を設けてはどうか。</p>	<p>○コース選択の前に、見学あるいは体験する機会を設けられるよう検討する。</p>
<p>2 生徒指導</p> <p>(1) 安全・安心な学校生活を送れていると思う。</p> <p>(2) 服装や身だしなみを整える指導については、定期的にしっかりと取り組まれていると思う。</p> <p>(3) 学生の指導は、同じ教育機関として非常に良いと感じている。小規模校であることも一因ではあろうが、教員の意識と熱意のたまものであろう。</p> <p>(4) ③「学校生活が充実しており、生徒は登校することが楽しいと感じている」において、生徒・保護者の評価が上がっている。⑱「生徒が教職員に気軽に相談できている」からわかるように、相談体制をしっかりと取られたことも、生徒指導の充実につながったと思う。</p>	

評価・提言等	提言等に関する改善方策等
<p>(5) 校則の見直し等を含め、生徒が主体となって校内生活のルールを決め、それを守るという意識を高めたいけるとよい。</p> <p>(6) 保護者の評価は、全てにおいて昨年度を上回っているので、信頼関係を大切にして協力しながら生徒を指導していけばよいと思う。</p> <p>(7) 生徒同士及び生徒・教師間の人間関係の評価が高いのは、先生方の日頃からの気配りが生徒に行き届いているからだと思う。自分の家庭でも学校の出来事をよく話をしてくれる。楽しく学校に通えている生徒が多いと思う。</p>	<p>○生徒の意見を取り入れたルール作りを行うよう検討中である。</p>
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) コロナ禍ではあるが、生徒や教職員の頑張っている姿をいかに保護者や地域へアピール・発信できるかどうか。アンケート結果でも、生徒や教職員の評価は高いが、保護者が低いものが多く見受けられる。保護者が情報を得られていないか、あまり関心がない等も要因の一つかと思われる。</p> <p>(2) 目標とする成果指標が高く、達成率も高い。進路については、保護者の事情によるところが大きいですが、公営塾への期待も高いことから、達成率よりも進学率あるいは進学と就職の比率で評価しても良いのではないか。</p> <p>(3) 生徒が主体的に取り組む活動や、生徒が自ら考えて行動する態度を育てる指導が、生徒の評価が高い。学習や運動等、生徒の良さを伸ばし活かす指導をさらに充実させていってほしい。また、若手教員が多いので、指導力向上のための研修を積み（弓削中や岩城中との授業研究会など）保護者・生徒ともに満足できる授業づくりを進めていってほしい。</p>	<p>○ホームページや弓削高だよりを用いて、保護者への情報提供を引き続き行っていく。</p> <p>○適切な評価方法について検討する。</p> <p>○中学校の教職員との情報交換や研修の機会を設け、生徒理解と指導力向上に活かす。</p>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に関する改善方策等
<p>(4) ICT教育やコース選択による授業等、さらに充実させて生徒のやる気を育ててほしい。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 全体的に活力のある様子が伝わってきており印象が良い。</p> <p>(2) アンケート結果において、保護者の回答割合が昨年度に比べて低くなっていることが少し気になった。</p> <p>(3) 定期的な教職員（中・高）の交流を図り、情報共有の場として位置付けられるとよい。生徒同士の交流の場も増やしていきたい。</p> <p>(4) コロナの状況も少し落ち着いてきたので、小中高の連携を今後も充実させたい。</p> <p>(5) 遅い時間に下弓削港辺りで生徒だけが集まっているのが気になる時がある。教職員が安全確認するとよい。</p> <p>(6) 保護者にとって入学の決め手の一つとなっている「公営塾」は、とても良い制度だが、生徒にとっても魅力を感じられるよう、きちんと勉強できる環境を作してほしい。</p>	<p>○ICT機器の活用について、教職員研修を重ね、より効果的に活用していく。</p> <p>○保護者の回答方法を、オンラインに変更したことが影響しているものと考える。</p> <p>○高校教員が中学校に出張授業を行うなど、より密度の濃い中高連携を図りたい。</p> <p>○部活動での小中高連携を充実させる。</p> <p>○生徒課を中心に下校指導等を行う。</p> <p>○塾講師との情報交換を密にするとともに、勉強できる環境づくりについて、学校も協力して行う。</p>